

2026年2月27日

各位

株式会社 紀陽銀行

## 和歌山市との共同提案による 環境省「脱炭素先行地域（第7回）」の選定について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、和歌山市（市長：尾花 正啓）ならびに関係事業者とともに、環境省が募集した「第7回脱炭素先行地域」に共同提案を行い、このたび和歌山市が脱炭素先行地域に選定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

紀陽銀行は、今後も地方公共団体との連携によりさまざまなステークホルダーとの連携を強化し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 提案概要

|                     |   |
|---------------------|---|
| 事業名                 | 全国の空洞化都市に先駆ける“和歌山モデル”<br>～空き家改修×脱炭素で創るまちなか再生戦略～   |
| 主たる提案者              | 和歌山市  |
| 共同提案者               | 和歌山県、南海電気鉄道株式会社、株式会社 sasquatch、株式会社和み、ゼロワットパワー株式会社、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ、株式会社紀陽銀行、きのくに信用金庫（提案書記載順）   |
| 主な取組事例<br>（詳細は別紙参照） | <b>断熱・省エネ・耐震改修による建物の脱炭素化と価値向上まちづくりと連携したにぎわい創出と空き家解消</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・市・地域企業・地域金融機関等が連携し、「断熱PPA」（改修費用を家賃に上乗せし中長期的に回収する仕組みにより断熱・省エネ・耐震改修等を一体的推進する取組）のスキームを構築。</li> <li>・断熱PPAの取組により建物の資産価値向上、店舗入居者の初期費用低減による参入障壁の低下を実現し、商店街の空き家解消に寄与。</li> <li>・商店街等のまちづくり全体の空間デザインと連携し、まちなかのにぎわいを創出することで建物・エリア双方の価値向上を実現。</li> </ul> |

#### 2. 脱炭素先行地域について

- ・民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減も地域特性に応じて実現する地域で、脱炭素と地域課題解決の同時実現を目指す『実行の』脱炭素ドミノ』のモデルとなる地域のこと。
- ・第7回は18件の計画提案が提出され、そのうち本件を含む12提案が選定。これまでの累計選定件数は102提案となった。

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

